

池干し・外来種駆除活動報告

三重県立四日市中央工業高等学校

発表者名 理科部

1 私たちが出来ることは何

三重県立四日市中央工業高等学校理科部は、8年前から「環境にやさしい取り組みは何か」を常に考え取り組みを行っている。

理科部の活動は主に水生生物の飼育・観察、花壇の花いっぱい運動（特に、ここで植えるパンジーは部員で夏に種を蒔き育てたものである）。また、ゴーヤのグリーンカーテン作り・大輪のひまわりを育てる等、景観もCO₂削減にも良い活動を行っている。その他には、小動物や昆虫等も飼育・観察している。

このような様々な分野を幅広く、決してすぐには結果や回答が得られない自然と関わり、失敗や成功を繰り返して活動自体が進んできている。

校外活動としては四日市市より依頼を頂いたボランティアに多数参加している。

この5年間に、四日市公害と環境未来館主催の出前講座で様々な分野で発表を行ってきた。

例えば、「小動物や昆虫の飼い方講座」「四日市公害について」「外来種駆除活動報告」。ワークショップでは、地域の小学生に「押し花作り」「しめ縄づくり」など多くのテーマに挑戦してきた。

特に、平成28年度第6回レスポンスブル・ケア四日市地区地域対話会で、本校理科部の活動報告をしたことによって、より一層環境への思いが強まった。また、工業地帯の自然環境調査観察「釣りを通して知ろう・学ぼう四日市の海」をして、四日市公害を学習し、近年の四日市港には魚が戻ってきていることが理解出来たことは良かった。

2 外来種駆除活動

池干し活動は3年目になり、四日市市環境保全課となたね通信さんから依頼を受け四日市市内の池干し・外来種駆除活動に取り組んだ。

主な池は、四日市市「メダカ池」平成29年11月

四日市市「南部丘陵公園南側ゾーン」平成30年12月

四日市市「垂坂公園内」平成31年3月

四日市市東産業株式会社内「アズトープ」令和元年11月 である。

3 日本ミツバチプロジェクト

四日市中央工業高校に「ニホンミツバチ」がやってきた！

平成30年6月四日市公害と環境未来館主催「ミツバチの飼い方講座」に参加し、これ以来手作りの巣箱作りから設置まで行い、ミツバチの分峰が出来るようにした。



種から育てたパンジーを文化祭で披露



四中工で捕まえたカブトムシを毎年
ふ化・飼育している



南部丘陵公園での池干しの様子と捕獲したコイ



資源の再利用活動としてペットボトル
キャップアートを作成



廃材を利用した手作り巣箱